

インド国ベンガル湾岸湿地 (バフダ入江およびルシクリヤ河口) における環境保全型クラブバンクの推進とプラスチックフリーエリアの開発

活動地域  インド

ひろげる助成

2年目

知識の提供・普及啓発

ワタリガニ卵放流
推計数

2億950万匹

ごみ収集

700 km

今年度計画の達成度

100%

目標達成度

80%



抱卵カニ保護活動の様子

活動内容と成果

下記の活動を実施した。

- ①CBを設置し、推計2億950万匹のワタリガニ種苗をベンガル湾に放流
- ②マングローブ (1万2,000本) や一般植樹 (8万本) 植林による緑化面積増加
- ③住民グループを結成し、清掃活動を実施、計700kmのごみを収集
- ④壁絵10枚、参加型エコゲーム、ニュースレター (計2巻4,000部)、クラブバンクのリーフレット (3,000部)、森林保全のブックレット3,000部、環境ラリー活動、環境エッセイや絵画コンテスト等を通じて環境普及啓発

課題

対象湿地でみられる乱獲やごみ投棄、気候変動による海洋生物への影響と生活困窮が危惧されている。住民の環境意識は乏しく、地域社会の環境適応・回避能力は脆弱である。

目標

ベンガル湾岸湿地の自然環境を再生し、そこで生活する人々が湿地を賢明に利用するために、クラブバンクの導入とプラスチックフリーエリア (PFA) を創出する。



住民グループ運営会議の様子 (PFA創出)

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

新型コロナウイルス禍の移動制限、異なる文化・言語を背景に、住民同士や住民と外部機関との意思疎通が難しい状況であった。

■ 工夫した点

湿地の賢明な利用を促進するために住民参加型の活動を多く取り入れるとともに、政府の支援も呼びかけ環境活動を活性化させた。



今後の
展望

各活動で得た教訓をもとに、バフダ入江とルシクリヤ河口の両湿地で、環境保全型クラブバンク及びプラスチックフリーエリアのモデル地として活動継続できる体制を目指す。

502/2 Mallick Complex, P.O.-
Khandagiri, Bhubaneswar-751030,
Dist-Khurda, Odisha, India
HP : <http://www.pallishree.org/>